

令和3年版

ふるさと“とちぎ”応援だより



[令和3(2021)年12月]
栃木県

昨年度は、栃木県へ寄附をいただきありがとうございました。

令和2(2020)年度に栃木県が皆様からいただいた寄附金の実績やその使い道を御報告いたします。

応援してくださった皆様の想いに応えられるよう、これからも魅力あふれるふるさと“とちぎ”づくりに努めてまいります。

今後とも、ふるさと“とちぎ”への応援をよろしくお願いします。



■ 栃木県からのお知らせ

「さとふる」からの寄附の際に PayPay 払いが利用できるようになりました。引き続きクレジットカード及びキャリア決済（ソフトバンクまとめて支払い、auかんたん決済、ドコモ払い）も御利用いただけます。

■ 寄附の受け入れ状況

令和2(2020)年度 416 件 27,311,060 円

受入れメニュー	件数	金額
① “とちぎ”のプロスポーツチームを応援する (栃木県地域振興基金に充当)	3件	40,000 円
② ふるさと “とちぎ” の多彩な文化を伝え育む (栃木県文化振興基金に充当)	9件	582,000 円
③ ふるさと “とちぎ” の輝く人と地域を育てる (輝くとちぎの人づくり推進基金に充当)	5件	10,035,000 円
④ ふるさと “とちぎ” の交通事故ゼロを目指す (栃木県交通安全基金に充当)	4件	32,000 円
⑤ ふるさと “とちぎ” の森を守り育てる (とちぎの元気な森づくり基金に充当)	1件	2,000 円
⑥ ふるさと “とちぎ” の福祉の向上を図る (栃木県地域福祉基金に充当)	4件	1,112,500 円
⑦ ふるさと “とちぎ” の救急医療の充実を図る (とちぎ安心医療基金に充当)	21件	1,808,000 円
⑧ ふるさと “とちぎ” の産業を担う学生を応援する (とちぎ未来人材応援基金に充当)	7件	582,000 円
⑨ ふるさと “とちぎ” が世界に誇る日光杉並木を守る (栃木県日光杉並木街道保護基金に充当)	16件	1,647,000 円
⑩ ふるさと “とちぎ” づくりのための幅広く活用する (知事におまかせ)	76件	1,387,500 円
⑪ 新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援寄附金	270件	10,083,060 円

■ 寄附金の活用状況

① “とちぎ”のプロスポーツチームを応援する(栃木県地域振興基金に充当)

栃木県内で活躍する7つのプロスポーツチームが取り組む地域貢献活動や新型コロナウイルス感染症対策の支援に活用されます。

寄附に際して、推しのチームがある場合には、チーム名を記載していただければ、寄附金はそのチームへの助成に活用させていただきます。

- 栃木 SC(サッカー)
- 宇都宮ブレックス(バスケットボール)
- H.C.栃木日光アイスバックス(アイスホッケー)
- 宇都宮ブリッツェン(自転車)
- 那須ブラーゼン(自転車)
- 栃木ゴールデンブレーブス(野球)
- 栃木シティフットボールクラブ(サッカー)



② ふるさと“とちぎ”の多彩な文化を伝え育む(栃木県文化振興基金に充当)

「栃木県文化振興基金」は、多彩な文化活動の促進、文化活動の担い手育成、地域伝統文化の継承等のため、文化団体への助成事業に活用されています。

令和2年度の寄附金を活用して助成した主な対象事業は次のとおりです。

- 演奏会、公演、美術展、ワークショップ
- 無形民俗文化財に指定されている民俗芸能及び年中行事に係る用具、衣装等の修理・更新等

令和2年度の寄附金の使い道



ジャズがクラシックに
恋をした！？Vol.5

第10回 Japan 伝統芸
特別記念公演



③ ふるさと“とちぎ”の輝く人と地域を育てる(輝くとちぎの人づくり推進基金に充当)

「輝くとちぎの人づくり推進基金」は、女性、若者、高齢者、障害のある方をはじめ、全ての県民の皆様一人ひとりが輝きながら、活力ある地域づくりに取り組めるよう様々な事業に活用されます。

令和2年度の寄附金を活用した主な事業は次のとおりです。

- 女性活躍をオールとちぎで推進するための各種取組
- 災害時における「地域の守り手」である建設業への若年者の就職支援
- 障害者就労支援施設が民間企業等と協力して取り組むコラボ企画の経費に対する助成

令和2年度の寄附金の使い道



女性活躍応援事業

ナイスハートコラボ
促進事業への助成



④ ふるさと“とちぎ”の交通事故ゼロを目指す(栃木県交通安全基金に充当)

「栃木県交通安全基金」は、県民一人ひとりの交通安全意識の高揚や交通マナーの向上を図り、交通事故のない安全・安心な“とちぎ”をつくるために活用されます。

令和2年度の寄附金を活用した主な事業は次のとおりです。

- ・春・秋・年末の各季の交通安全県民総ぐるみ運動等の実施
- ・参加・体験・実践型の交通安全教室の実施
- ・交通事故相談事業

令和2年度の寄附金の使い道



シミュレーターを使用した広報啓発活動



各季の交通安全県民総ぐるみ運動

⑤ ふるさと“とちぎ”の森を守り育てる(とちぎの元気な森づくり基金に充当)

「とちぎの元気な森づくり基金」は、とちぎの元気な森を次の世代に引き継いでいくために、高齢化した森林の若返りなど“災害に強い森づくり”を推進するための様々な事業に活用されています。

主な事業は次のとおりです。

- 森林の皆伐後におけるスギコンテナ苗等の再造林への支援
- シカ等による苗木の食害対策への支援
- 里山林の整備・管理への支援
- 境界等が不明な森林解消のための地籍調査への支援

令和2年度の寄附金の使い道



シカ食害防止ネットの設置



少花粉スギコンテナ苗の植栽

⑥ ふるさと“とちぎ”の福祉の向上を図る(栃木県地域福祉基金に充当)

令和2年度の寄附金の使い道



おもいやり駐車スペースの設置

「栃木県地域福祉基金」は、県民みんなで支え合い、共に生きる福祉社会を目指し、地域福祉の充実を図るために活用されます。

主な事業は次のとおりです。

- 民生委員・児童委員活動の推進
- 福祉ボランティア活動の推進
- 障害者、要介護者、妊産婦等の専用駐車スペース(おもいやり駐車スペース)の適正利用の促進

避難所体験の様子



⑦ ふるさと“とちぎ”の救急医療の充実を図る(とちぎ安心医療基金に充当)

「とちぎ安心医療基金」は、救急医療の充実を図り、県民が安心して暮らすことのできる地域社会を実現するために活用されます。

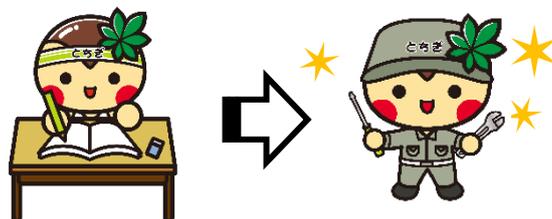
令和2年度の寄附金は救急医療機関が行う医療機器購入等への補助に活用されました。



⑧ ふるさと“とちぎ”の産業を担う学生を応援する(とちぎ未来人材応援基金に充当)

「とちぎ未来人材応援基金」は、大学生等の県内企業への就職を促進し、本県の産業を担う人材を確保することを目的としています。令和2年度の寄附金は、県内対象企業に就職予定の大学生等の奨学金返還額の一部を助成するために活用されました。

対象業種は製造業・卸売業・小売業、情報通信業、宿泊業であり、多くの学生に活用していただける制度となっています。



⑨ ふるさと“とちぎ”が世界に誇る日光杉並木を守る(栃木県日光杉並木街道保護基金に充当)

「栃木県日光杉並木街道保護基金」は、日本が世界に誇る貴重な文化遺産である日光杉並木街道の保護に活用されます。

令和2年度の寄附金は樹勢回復事業として、並木杉の根を保護するための木柵を整備・改修などに活用されました。

令和2年度の寄附金の使い道



木柵改修前



木柵改修後

日光杉並木街道は『世界一長い並木道』としてギネスブックに掲載されています



⑩ 知事におまかせ

使い道を知事におまかせいただいた寄附金は、寄附を受けた翌年度に、「とちぎ未来創造プラン」に掲げられた重点戦略事業に活用されています。

令和2(2020)年度に受けた寄附については、『生涯安心医療・介護プロジェクト』の事業「AYA世代※等のがん患者支援事業」に充当されました。

AYA世代※のがん患者は、治療を継続しながら就労や結婚、子育てといった人生の中でも大きな節目にいくつも直面し、心理的にも経済的にも多くの負担を抱えています。

県では、そういった負担を少しでも軽減し、安心して治療を継続できる環境の整備を進めています。

<主な事業>

○妊孕性温存支援

将来子どもを持つことを望むがん患者の卵子凍結、精子凍結等の妊孕性温存に係る治療への助成。

○ピアアランスケア・在宅ターミナルケア支援

ウィッグや乳房補整具の購入に係る経費、若年がん患者の介護サービス等に係る経費へ助成を行う市町に対する補助。

○ピアサポーターの養成

自分のがん経験を活かし、患者の悩みや不安に傾聴し共感的に受け止め、心理的負担などの軽減を図るピアサポーターの養成。

※Adolescent and Young Adult = 思春期と若年成人世代の略。おおよそ15歳から40歳前後の世代

⑪ 新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援寄附金

ふるさと納税としてお寄せいただいた「新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援寄附金」は、その他企業等からいただいた寄附金と併せて、令和2年9月及び令和3年3月及び4月にそれぞれお勤めの医療従事者及びクラスター発生施設において支援活動にご尽力いただいた医療従事者の方々へお届けしました。

ワンストップ特例のお知らせ

令和3年(2021)年1月から12月に寄附をいただいた方のワンストップ特例申し込み期限は**令和4年(2022)年1月11日(火)**になります。特例の適用を受けたい方は、お申し込み忘れの無いようご注意ください。万が一、お申込みを忘れた場合、控除を受けるには確定申告が必要になります。

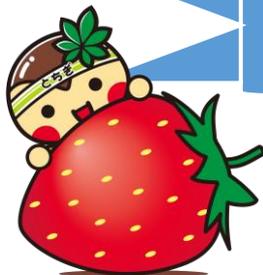
ワンストップ特例とは？

以下のすべての条件に該当する方は、申請書を提出することで確定申告を行わずに税の軽減が受けられます。

- ①寄附した年の分の所得税について、確定申告書の提出を要しない方
 - ②寄附した翌年6月以降に納付する住民税について、申告書の提出を要しない方
 - ③1月1日から12月31日までの一年間に寄附した地方団体(県・市町村)の数が5つ以内の方
- 申請書には、申請書のほか下記の書類が必要です。
- ①個人番号が確認できる書類の写し(マイナンバーカードのウラ面や、通知カード※等)
 - ②本人確認ができる書類の写し(マイナンバーカードのオモテ面や、運転免許証等)

※氏名、住所等の記載事項に変更がない場合

“とちぎ”の誇る特産品のご紹介



※一部はふるさと納税のお礼の品としてご用意しております。

“とちぎ”のいちご

昭和43年(1968)年から実に50年以上生産量日本一を誇るのが栃木県のいちごです。

栃木県では日本唯一のいちご専門研究機関「いちご研究所」があり、美味しいいちごを栽培するための研究が行われています。



“とちぎ”のなし

栃木県は和梨の生産量が全国3位！豊水、幸水はもちろん、栃木県オリジナル品種のにっこりはジューシーで甘みが強く、そして何より1kg前後の大玉が特徴です。



“とちぎ”のお米

栃木県、実は生産量全国8位の米どころ。大嘗祭に供納されたとちぎの星や、なすひかり等の品種があり、ふるさと納税の返礼品の中でも人気があります。

“とちぎ”のお酒

栃木県はビールの原材料となる二条大麦が全国2位、六条大麦が全国3位で地ビールやクラフトビールも美味しいのです。

もちろん栃木県の日本酒も様々な銘柄があり、おすすめです。



※順位はいずれも令和元年度のものです



いちごいちえ 会 とちぎ 国体

第77回 国民体育大会

夢を感動へ。感動を未来へ。 2022

寄附のお申込みはこちらから

栃木県ホームページ



栃木県電子申請システム



さとふる



お問い合わせ先

〒320-8501 栃木県宇都宮市埜田1丁目1番20号

栃木県経営管理部税務課課税・収税担当

TEL:028-623-2105 FAX:028-623-3454

E-mail: zeimu@pref.tochigi.lg.jp

HP: <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kurashi/zeikin/furusato/index.html>